

KSボンド説明書

鹿島道路株式会社

本製品の使用、取扱い、保管については、必ず説明書及び製品安全データシート(MSDS)をお読み下さい。

第1章 安全上の注意

1. 注 意

1-1 作業前の確認

取扱い作業に際しては、説明書、製品安全データシート(MSDS)などで、注意事項を確認して下さい。

1-2 取扱い場所



- (1) 火気のあるところでは、使用しないで下さい。
- (2) 取扱い作業所には、局所排気装置を設けて下さい。

1-3 取扱い方法



- (1) 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用して下さい。
- (2) 容器からこぼれた場合には、布(ウエス)で拭きとって、安全な場所に廃棄して下さい。
- (3) 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
- (4) 5℃以下では、極端に硬化が遅くなる為、使用しないで下さい。

1-4 応急措置

- (1) 作業衣等に付着した場合には、その汚れをよく落として下さい。
- (2) 皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み、又は外観に変化がある時には、医師の診断を受けて下さい。
- (3) 目に入った場合には、多量の水で洗い流し、早く医師の診断を受けて下さい。
- (4) 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- (5) 誤って飲み込んだ場合は、早く医師の診断を受けて下さい。

1-5 保管方法



- (1) 密栓の上、危険物倉庫に保管するか、指定数量以下の場合は、火気のない5～35℃の直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
- (2) 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 本製品の硬化剤は、医薬用外劇物である為、鍵のある場所に保管し、保管数量を管理して下さい。

1-6 接着用以外の使用禁止

- (1) 本来の用途以外には、使用しないで下さい。

1-7 廃棄方法



- (1) 河川等の環境中に投棄、及び漏出させないで下さい。
- (2) 廃棄物の処理、及び清掃に関する法律、及び都道府県条例等に基づき、許可を受けた処理業者に委託して下さい。

2. 法 規 制

(1) 消防法

KSボンド (主剤)	KSボンド (硬化剤)
第4類第3石油類 危険等級Ⅲ	第4類第3石油類 危険等級Ⅲ

(2) 労働安全衛生法

KSボンド (主剤)	KSボンド (硬化剤)
エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン

(3) 毒物及び劇物取締法

KSボンド (主剤)	KSボンド (硬化剤)
非該当	・3-(アミノメチル)ベンジルアミン ・3-アミノメチル-3・5・5-トリメチルシクロヘキシルアミン

3. 特 徴

- ・高強度:エポキシ樹脂特有の強靱な接着性を示します。
- ・耐水性:3日間の98℃熱水浸漬試験(JIS K 6857 処理条件E)でも、接着強度低下を起こしません。
- ・耐熱性:70℃温度下でも十分な接着強度を示します。
- ・全シーズン施工:夏用、冬用、春秋用の3タイプの品揃えで、広い温度範囲で施工が可能です。
- ・防錆性:鋼材に塗布した場合には、発錆を防止します。

4. 用 途

コンクリート・鋼材用の高耐久型・耐水耐熱性打継ぎ用エポキシ樹脂接着剤

5. 性状と物性

項目		性状と物性	備考
外観	主剤	白色ペースト状	異物混入無し
	硬化剤	青色液状	異物混入無し
混合比(主剤:硬化剤)		5:1	重量比
硬化物比重		1.40±0.20	JIS K 7112
圧縮強さ		50N/mm ² 以上	JIS K 7181
圧縮弾性率		1000N/mm ² 以上	JIS K 7181
曲げ強さ		35N/mm ² 以上	JIS K 7171
引張せん断強さ		10N/mm ² 以上	JIS K 6850
コンクリート付着強さ		1.6mm ² 以上または母材破壊	JIS A 6909

※試験温度:23℃

※供試体養生:23℃ 7日間

※付着強度は材料単独での社内品質管理値であり、現場施工品質管理値とは異なります。

※項目並びに数値は、変わる事があります。

第2章 使用上の注意

1. 標準使用方法

- (1) 主剤／硬化剤を所定の混合比(5/1:重量部)で配合して、均一になるように電動攪拌機等で十分に攪拌します。
- (2) 打継ぎ箇所に所定量のKSボンドを均一に塗布します。
- (3) 一定の馴染み時間(5分程度)が経過した後に、温度によって定められた打継ぎ間隔時間以内にコンクリートを打設します。
- (4) コンクリート打設後は、コンクリート強度および接着樹脂強度が十分発現するまでは供用せずに養生して下さい。

< 施工手順 >



【注意】：混合後のKSボンドをバケツなどの容器に放置すると、容積効果によって硬化時間が極端に短縮したり高温発熱を引き起こしますので、混合後のKSボンドは必ずすみやかに被着体面に塗布し使い切ってください。

2. 打継ぎ可能時間

- ・ボンド塗布工において、施工性を確保し所定の塗布量を均一な膜厚で塗布するためには、施工環境温度に適した粘性のボンドを用いる必要があります。KSボンドには、使用時期にあわせて夏用・冬用・春秋用の3タイプを用意していますので、コンクリート打込み時の被着体※温度によって、最も適切なものを選定してください。
- ・打継ぎ可能時間とは、混合後のKSボンドをすみやかに被着体面に塗布してからコンクリートの打込みを完了させるまでの時間のことです。

タイプ	被着体温度と各タイプの作業性(塗布性能)と打継ぎ可能時間													
	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃	40℃	45℃	50℃	55℃	60℃		
夏 用					作業性良好									
					120分	←	→	60分	←	→	40分	←	→	30分
春秋用			作業性良好											
				120分										
冬 用	作業性良好													
	120分													

※表中の時間は打継ぎ可能時間を示しています。

※被着体:鋼材とコンクリート版を対象とします。 ※上記以外の被着体温度で用いる場合にはお問い合わせ下さい。

3. 梱包・容量

12kgセット(主剤:10kg、硬化剤:2kg)



4. 使用期限

試験成績表に記載の試験日より6ヶ月間(保管条件は1-5を参照)

記載した説明書の内容は、当社試験研究および調査によるもので、十分信頼しうるものと考えておりますが、被着材・使用条件により相違する場合がありますので、予め御需要家各位で試験等のご確認の上、ご使用下さる様お願い致します。

以上